

ナシ類の生育は、10日程早い状況となっています。南水では、4月の凍霜害により中野市全域で被害があり結実不良が見込まれています。そのため、結実不良が心配される園地では生産量確保のため、予備摘果などは行わず果実の素質がハッキリしたところで管理作業を行って下さい。

年度別の南水開花始め状況（調査地点：田麦沖）

低温による芽の被害

年度	平年	R1	R2	R3
開花日	4/25	4/26	4/25	4/13



和梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に注意する）

5月下旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期：5/25～30頃（左記は目安です。）

散布薬剤 水 100ℓ

展着剤 20ml

劇 ダーズバン DF 33g（30日前、3回）

アントラコール顆粒水和剤 200g（45日前、4回）

対象病虫害：黒斑病、黒星病、赤星病、シンクイムシ、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ

散布量：10a当たり 400ℓ

～注意事項～

①カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル1000倍（30日前、2回）を加用する。

②ダーズバンDFは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参して下さい。

◆ 散布日：5月 日

◆ 散布量： ℓ

6月上中旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期：6/10～15頃（左記は目安です。）

散布薬剤 水 100ℓ

展着剤 20ml

ベルクトフロアブル 50ml（14日前、5回）

劇 スプラサイド水和剤 66g（7日前、3回）

対象病虫害：黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類

散布量：10a当たり 450ℓ

～注意事項～

①【代替】通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。

②スプラサイド水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参して下さい。

散布日：6月 日

散布量： ℓ



◆ 西洋梨の定期防除、注意事項は次面をご覧ください。

次回特報 発行予定日：6月17日

6月下旬の薬剤散布について

散布日目安：6月25～30日頃

西洋梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に注意する）

全域で腐らん病が早期多発傾向です。
梅雨期間の感染拡大を予防するため、病斑部の削り取り処理等を早めに進めてください。

次回特報 発行予定日：6月17日
6月下旬の薬剤散布について
散布日目安：6月20～25日頃

5月中下旬の薬剤散布（前回より約15日後）

散布時期	5/20～25頃（左記は目安となります）	◆ 散布日：5月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10mℓ トランスフォームフロアブル 50mℓ（前日、3回） ジマンダイセン水和剤 200g（30日前、5回）	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、黒斑病、黒星病、赤星病、アブラムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：400ℓ	
注意事項	①アブラムシ類の発生が目立つ場合は今回の散布を早める。 ②【代替】トランスフォームフロアブルに代えてコルト顆粒水和剤 4000倍（前日、3回）でもよい。	

6月上旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期	6/5～10頃（左記は目安となります）	散布日：6月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り 展着剤 10mℓ 劇ダーズバンDF 33g（30日前、3回） キノンドー顆粒水和剤 100g（3日前、9回）	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10a 当り 500ℓ	
注意事項	①カイガラムシ類対策：アプロードフロアブルの1000倍（30日前、2回）を加用する。 ②カメムシ対策：ダーズバンDFに代えて、アルバリン顆粒水溶剤の2000倍（前日、3回）を使用する。	

*薬面散布・・・定期散布時に農薬と混用が可能です。（混用は最後です）

資材名	成分量	目的	倍率	使用時期	規格、単価
オルガミン	窒素全量 0.11% 水溶性苦土 4% 水溶性ほう素 0.7% 水溶性加里 0.11% 水溶性マンガン 0.25%	光合成促進 品質向上	1,000倍	開花期～6回	1ℓ 3,730円 5ℓ 15,840円 10ℓ 29,700円
液体硫酸マンガン	水溶性マンガン 13.5%	マンガン補給 葉の健全化	200倍	落花30日後 落花40日後の2回	1kg 1,020円
グリーンデイズ	水溶性苦土 16% 水溶性マンガン 9.0% 水溶性ほう素 2.5%	苦土等補給 葉の健全化 品質向上他	1,000倍	今回定期散布～3回	1kg 1,530円